

第 78 回国民スポーツ大会ソフトテニス競技北海道ブロック予選会
兼
北海道体育大会（少年の部：ダブルス）
開 催 要 項

1	日 時	2024年8月9日（金）～11日（日） 受付終了8時30分 受付終了後開会式 ★予備日 8月12日（月）
2	会 場	旭川市花咲スポーツ公園テニスコート 旭川市（旭川市花咲町1丁目）※オムニ18面 TEL(0166) 53-4084
3	主 催	公益財団法人 日本スポーツ協会 公益財団法人 北海道スポーツ協会
4	主 管	北海道ソフトテニス連盟（強化委員会）、北海道ソフトテニス連盟高校部 旭川ソフトテニス連盟
5	後 援	スポーツ庁・北海道
6	種 目	少年男子・少年女子 ダブルス
7	大会使用球	ケンコーボール
8	競 技 方 法	(1) 別添『2024年度国民スポーツ大会道予選会実施要領』及び『国民体育大会北海道代表選考規程』に基づき実施する。 (2) 7ゲームマッチ (3) ルール等は、公益財団法人日本ソフトテニス連盟（以下、日連という）ソフトテニスハンドブックによる。
9	参 加 資 格	(1) 平成18年4月2日以降平成22年4月1日以前に生まれた者 (2) 日本国籍を有する者とし、本ブロック予選会への出場資格を得た者 ただし、日本国籍を有しない者は、学校教育法第1条に定める学校に、申込時、1年以上継続して在籍する生徒であれば良い (3) 居住地を示す現住所が北海道内である者、又は勤務地が北海道内である者、又は学校教育法第1条に規定する学校に在籍している場合には、学校の所在地が北海道内にある者 (4) 国民体育大会本選への出場意思があり、審判ができる者 (5) 平成21年4月2日～平成22年4月1日生まれ（中学3年生）の者は20ペア出場できる（道連中学部が選考し、道連高校部に申込み） ★参加に際してはベンチ入り指導者等、高校の適用ルールを把握して守ること。
10	申 込 期 限	2024年7月10日（水）
11	参 加 料	1ペア7,500円（道連大会参加料2,500円+日体協負担金5,000円※下記参照） ★上記参加料には、1名あたりの日体協参加者負担金1,500円及び日体協傷害補償制度負担金1,000円の合計2,500円を含みます。（ペアで合計5,000円）
12	参 加 割 当	(1) 各支部には原則として、少年男・女別に会員登録20名につき1組の割合で参加数を割り当てる。開催支部については男女各4ペアを加える。 (2) 別紙『指定シードペア』については地区予選を免除するとともに、前述の各支部割当の枠外とする。
13	申 込 方 法	日本連盟、会員登録システムにより申し込み、選択した支払方法により期限(7月10日)までにお支払いください。 ※システム申し込み上の注意：追加情報A～Dの記載について。（必須） ①A欄に必ず以下のように記入。 ・番手順、後衛前衛順に1A1B、2A2B…と書き込んでください。 ②B欄に他校の選手と組む場合は必ず備考欄に以下のように記入。 ・前衛(または後衛)、○○クラブの△△とペア ・申し込みは、ペア校それぞれが必ず行い、情報を必ず記入すること。 ③C、D欄は空欄

14	参加選手 留意事項	<p>(1) 所定の時刻までに受付を完了し、開会式には、必ず出席すること。</p> <p>(2) 日連指定のゼッケンを着用し、四隅を止めること。</p> <p>(3) ラケット（公認マーク添付）、シューズ、ユニフォームは、日連が公認したメーカーの製品を使用（着用）し、当該年度の日連の「ユニフォーム等の着用基準」を遵守すること。</p> <p>(4) 公認審判員ワッペン及びイエローカードを携行し、審判を担当するときは、原則ワッペンを左胸に着用すること。</p> <p>(5) ベンチ入り指導者もテニスの服装とする。</p> <p>(6) 引率責任者は当該校の教員とする。ベンチ入り指導者は学校長の認めた教職員とし、2名まで認める。出場ペア数が1ペアの場合は、1名とする。指定シードペアについては、強化委員会スタッフがベンチ入りすることができる。なお、ベンチ入りが可能なのは、1次予選までとし、それ以降のマッチでは、全ての指導者を対象に一切認めないこととする。</p> <p>(7) 優勝者は必ず「持ち回り優勝杯」を持ち帰り、次年度の大会時に整備のうえ、責任を持って当該校の選手が返還すること。</p> <p>(8) 荒天の場等合の大会の取り扱いについては、当日会場で、受付時刻までに発表する。</p> <p>(9) 入賞者の写真について、北海道ソフトテニス連盟のホームページ掲載及び広報誌のためだけに使用させていただきます。なお、写真の掲載について不都合がある場合などは、お手数ですが広報担当者まで個別に連絡願います。 広報 IT 委員会 担当：笠原 mail：kasa2316@yahoo.co.jp</p> <p>(10) 試合については、YouTube 等で配信することがあります。その旨を、参加校は参加者に周知していただき、何か支障がある場合は、各支部の道専門委員に申し出てください。</p> <p>(11) 感染防止留意するようご協力をお願いします。 ★変更が生じた際は、専門委員や高体連ソフトテニス専門部ホームページにより参加校へ連絡する。</p>
----	--------------	---

この事業は、競輪の補助を受けて実施しています。

競輪の補助事業



令和6年度 国民スポーツ大会（佐賀県開催）少年男女北海道予選会実施要領

北海道ソフトテニス連盟強化委員会

1 開催日時

種別・会場	試合	受付・開始時間
ダブルス (旭川市花咲スポーツ公園テニスコート)	1次予選	8月9日(金) 午前8時30分受付終了、9時試合開始
	2次予選	8月10日(土) 午前8時30分受付終了、9時試合開始
	最終予選	8月11日(日) 午前8時30分受付終了、9時試合開始
シングルス (砂川市日の出テニスコート)	1次予選 (兼 step2)	6月15日(土) 午前8時30分受付終了、9時試合開始
	最終予選	6月16日(日) 午前8時30分受付終了、9時試合開始

2 選考方法

(1) ダブルス

- ・各地区予選通過ペアは1次予選に出場を認める。
- ・「指定シードペア（代表候補選手）」は、地区予選を免除。（各支部割当て枠外とする）
- ・「指定シードペア（代表候補選手）」の選手変更は一切認めない。なお、地区予選に出場した場合（ペア変更を含む）は「指定シードペア（代表候補選手）」としての権利は消滅する。
- ・中学3年生は、強化委員会推薦選手を除き、1次予選（初日）から20ペアに限り出場を認める。

○1次予選（初日）

- ・トーナメント戦又はリーグ戦により4ペアを選出する。

○2次予選（2日目）

- ・上記4ペアと指定シードペア（代表候補選手）8ペアを、A・Bブロック各6ペアに分け、総当たりリーグ戦（1回）により、A・Bブロック各上位2ペアを最終リーグに進出させる。

○最終予選（3日目）

- ・上記4ペアにより、総当たり最終リーグ戦（1回）を行い、トータルポイントで上位のペアから順に代表ペアとして内定する。

(2) シングルス

- ・1次予選は①「U17の部」(対象：中学3年生～高校2年生)と②「高校3年生の部」の種目に分けて実施することとし、①「U17の部」は日本ソフトテニス連盟競技者育成プログラムstep2(U17)を兼ねます。(※①「U17の部」の1次予選結果を競技者育成プログラムstep2(U17)の結果として採用する。)
- ・参加資格は次の事項のいずれかに該当する者とする。

①令和5年度北海道高校新人戦シングルス：ベスト4

②令和6年度ハイスクールジャパンカップ予選会シングルス：南北優勝者

③ランキングポイント上位者

【ランキングポイント(国民スポーツ大会予選会のみ適用)】

<対象大会・ポイント付与成績>

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
大会名	道中学 シングルス	中体連	新人戦 シングルス	新人戦 ダブルス	道高校 インドア	高体連	Step2
高校 1年生	ベスト8 以上	ベスト4 以上	—	—	—	ベスト16 以上	※次年度 より
高校 2～3年生	—	—	ベスト32 以上	ベスト16以上			

※各大会の開催年度は次の通り。なお、中学大会の成績は高校1年生のみ対象とする。

①<前々年度>、②～⑤、⑦<前年度>、⑥<当年度>

<ポイント>(中学大会・高校大会共通) ※ポイントは1名分。

順位	1位	2位	3位	ベスト8	ベスト16	32ベスト
ダブルス	20	16	12	8	4	—
シングルス	30	24	18	12	6	3

※シングルス予選会にランキングポイントで参加出来る者は次の通り。

①高校1年生：ポイント保有者

②高校2年生：同学年の中でポイント上位12位まで（※辞退者が出ても補充無し）

③高校3年生：同学年の中でポイント上位16位まで（※辞退者が出て、16名を

下回った場合は、次点ポイント保有者全員を該当とする）

※なお、上記②及び③は「9参加資格（6）①及び②」による参加者を除く。

○1次予選（初日）

- ・トーナメント戦により①「U17の部」から上位2名、②「高校3年生の部」から上位4名を選出する。

○最終予選（2日目）

- ・1次予選で選出された6名による総当たりリーグ戦を行い順位決定する。

なお、ダブルスの選考を優先とするため、この時点ではシングルの内定候補者として位置づけ、ダブルスの選手選考が確定した後にシングルの代表選手を確定させる。

○全国大会における代表内定との兼ね合い

- ・全国大会結果における「代表内定選手」の権利を有した場合、予選会の結果よりも優先する。
ただし、ダブルス代表との兼ね合いもあるので、原則予選会は実施する。

【注意事項】

- 1 ダブルス及びシングルスで内定となった選手が辞退をする場合は、それぞれの予選会で次点となったペア（ダブルスの場合）又は選手（シングルの場合）を繰り上げて内定とする。
- 2 代表となる選手は、監督の指示により、ダブルス、シングルのいずれかにも出場することに承諾しなければならない。（代表選手は、事前に承諾書の提出が必要となる）
- 3 ベンチ入り指導者について、①シングルスでは認めない ②ダブルスでは1次予選は認めるが、それ以降は認めない。
- 4 参加数及び当日の天候等、特別な事情が生じた場合、上記の試合方法を変更することがある。

国民スポーツ大会北海道代表選考規程

1 監督・コーチの選考について、少年男女は代表選手所属の指導者を中心に、成年男女は代表選手強化に携わる指導者を中心に強化委員会が推薦し、国体代表選考委員会の承認を経て、理事会で審議・決定する。

2 代表選手の選考は、以下に示した基準（注①）に該当したペア（同一ペアに限る）を「国スポ代表内定ペア（1ペア）」とし、予選会を免除する。

なお、対象が2ペア（ダブルス）以上となった場合は、国スポ代表選考委員会で協議した後、道連理事会で最終審議・決定を行う。※少年のシングルスについては、別に定める。

3 上記2以外の代表選手選考会は、「国スポ道予選会実施要領」に基づき、大会要項に定めるペア数（シングルスは選手）を選考する。

なお、最終リーグの順位は「ソフトテニスハンドブック大会運営規則第3章競技大会第10条」により決定する。

4 代表選手5名の他に補欠選手を各種目1名に限り置くことができるものとする。補欠選手の選考基準は、以下に示す注③の通りとし、強化委員会の承認を得て道連理事会で審議・決定する。

5 国スポ代表選考委員会は、上記により選出された選手のほか、強化委員会から推薦された監督・コーチ・補欠選手の選考について審議する。また、選手（補欠含む）及び監督・コーチに欠員が生じた場合には、速やかに強化委員会と協議し、補充の選考をしなければならない。

6 上記による選考結果は、国スポ道予選後の道連理事会で正式に発表する。

7 監督・コーチ・選手（補欠含む）は種目を問わずに一致団結し、常に北海道代表としての自覚と品位を保ち、競技力の向上に努めなければならない。

なお、これらに反する行為があった者、または、そのような行為を看過した者は、国スポ代表選考委員会の審議により、北海道代表の資格を失うことがある。

8 国スポ代表選考委員会は、必要に応じて理事長が招集する。なお、委員は次のとおりとするが、審議の際には、会長（代理又は委任可）、副会長（2名以上）、理事長、副理事長（強化委員長を含む2名以上）の出席を要す。 ※国スポ代表選考委員の該当者：会長、副会長、理事長、副理事長

注①：少年男女における「国スポ代表内定ペア・選手」

ダブルス（同一ペアに限る）	シングルス
<ul style="list-style-type: none"> ・当年度全日本高校選手権 上位 8 ペア ・当年度ハイスクールジャパンカップ 上位 2 ペア 	<ul style="list-style-type: none"> ・当年度ハイスクールジャパンカップ (シングルス) 上位 4 名 ・全日本シングルス選手権 上位 8 名 <p>ただし、ダブルスを優先として代表選手を決定するため、上記に該当する選手は、内定候補として、シングルス予選会を免除し、シングル予選会の 1 位以上の順位とする。</p>

注①：成年男女における「国スポ代表内定ペア・選手」

ダブルス（同一ペアに限る）	シングルス
<ul style="list-style-type: none"> ・前年度東・西日本選手権（一般） 上位 8 ペア ・前年度全日本学生選手権 上位 4 ペア ・前年度全日本社会人選手権（一般） 上位 8 ペア ・前年度全日本選手権 上位 16 ペア 	なし

注②：少年男女における「指定シードペア・選手」

ダブルス（2次予選）	シングルス
<ul style="list-style-type: none"> ・代表候補選手 男女各 6～8 ペア <p>※下記のランキングポイントにより選考のうえ、必要に応じて強化委員長推薦を加え、強化委員会が最終的に承認し、指定シードペアを選出する。</p> <p>なお、<u>同点ペアが複数出た場合は、対象者のみの選考会を別に実施することができる。</u></p>	なし

【ランキングポイント（国民スポーツ大会予選会のみ適用）】

<対象大会・ポイント付与成績>

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
大会名	道中学 シングルス	中体連	新人戦 シングルス	新人戦 ダブルス	道高校 ペア	高体連	step2
高校 1年生	ベスト8 以上	ベスト4 以上	—	—	—	ベスト16 以上	※次年度 より
高校 2～3年生	—	—	ベスト32 以上	ベスト16以上			

※各大会の開催年度は次の通り。なお、中学大会の成績は高校1年生のみ対象とする。

①<前々年度>、②～⑤、⑦<前年度>、⑥<当年度>

<ポイント>（中学大会・高校大会共通）※ポイントは1名分。

順位	1位	2位	3位	ベスト8	ベスト16	32ベスト
ダブルス	20	16	12	8	4	—
シングルス	30	24	18	12	6	3

※シングルス予選会にランキングポイントで参加出来る者は次の通り。

- ①高校1年生：ポイント保有者
- ②高校2年生：同学年の中でポイント上位12位まで（※辞退者が出ても補充無し）
- ③高校3年生：同学年の中でポイント上位16位まで（※辞退者が出て、16名を下回った場合は、次点ポイント保有者全員を該当とする）

※なお、上記②及び③は「9参加資格（6）①及び②」による参加者を除く。

※ダブルス予選会の2次予選から参加となる「指定シードペア」は上記ポイントのペア合計数により選考する。ただし、中学大会の成績によるポイントは60%に減算する。

注②：成年男女における「指定シードペア・選手（最終予選）」

ダブルス（同一ペアに限る）	シングルス
・当年度北海道春季選手権（一般） 優勝ペア	・当年度北海道シングルス選手権 上位 2 名
・前年度北海道選手権（一般） 上位 2 ペア	・当年度全日本シングルス選手権 上位 16 名
・前年度東・西日本選手権（一般） 上位 16 ペア	・前年度全日本学生シングルス選手権
・前年度全日本学生選手権 上位 8 ペア	上位 8 名
・前年度全日本社会人選手権（一般） 上位 16 ペア	
・前年度全日本選手権（一般） 上位 32 ペア	

注③：補欠選手の選考基準

少年男女	成年男女
ダブルス及びシングルス予選会における次点選手から監督・コーチの意向を踏まえ、選考する。	ダブルス及びシングルス予選会における次点選手及び当年度の全日本シングルス選手権、北海道春季選手権、北海道選手権、東日本選手権、全日本学生選手権で上位入賞した選手の中から監督・コーチの意向を踏まえ、選考する。

◆改正内容

平成 1 2 年 1 月 2 2 日理事会：補欠制について

- ・補欠選手を認めず、選手変更を要する非常事態の場合出発前は国体代表選考委員会で、出発後は選手団の総監督に委ねることとした。

平成 1 4 年 5 月 2 5 日理事会：国体代表選考委員会について

- ・委員については、会長、副会長、理事長、副理事長とし、審議の際は、会長（代理含む）、副会長（2 名以上）、理事長、副理事長（強化委員長を含む 2 名以上）の出席を要することとした。

平成 1 8 年 6 月 1 0 日理事会：国体代表内定組の取り扱いについて

- ・国体代表内定基準を作り、その対象組が複数生じた場合の取扱いを明記した。

平成26年 3月 1日理事会：監督・コーチの決定について

- ・国体の監督・コーチは、強化委員会が推薦し、国体代表選考委員会の了承を経て、理事会で審議、決定することとした。

平成27年 3月 7日理事会：補欠選手の選考及びシングルの導入に伴う変更

- ・シングルの導入に伴い代表選手が5名（ダブルス4名、シングル1名）になることから怪我による選手変更や練習パートナーなどの問題に対応出来るように補欠選手を1名置くことにしたほか、シングルの選考に関わる事項を明記した。

令和 5年 2月18日理事会：競技日程変更に伴う選考方法の見直し

- ・成年男女参加選手の各種大会日程を考慮して、競技日程を5月最終週末にダブルスとシングル両方の予選会を実施することとした。

令和 6年 2月17日理事会：少年男女シングル選考会実施方法の見直し

- ・競技者育成プログラムstep2との連動方法と選考会参加基準及び代表候補選手選考基準の見直しを行った。